



子供たちのための働き方改革を

～時間と心身のゆとりを生み出そう～

働き方改革については、各学校で努力を重ねて進めていただいています。しかし、「そうは言われてもね、仕事が減らないよね。」という声も多数です。そのうえ、SDGs、Society5.0、令和の日本型学校教育の構築、学校のニューノーマル、GIGA スクール構想・・・と、これからの時代を象徴する言葉が飛び交っています。「やるべきことがどんどん増えているのに、働き方改革？」と、難しさを感じている方も多いですね。

しかし、働き方改革は、官民間問わず日本中でその取組の推進が声高に叫ばれており、生産性を上げつつ「持続可能な」社会への変革が求められています。学校も同様です。

これまで、先生方は「子供たちのためになることはなんでもやろう！」と、一生懸命に取り組んでこられました。先生方の献身的な努力が学校を支え、「日本型教育」として世界の注目を集めてきたところですが、学校は現状への対応に手一杯で、時間外の在校時間が多くなっており、これ以上新しいものを積み上げる余裕はありません。何より、教職員の皆様の健康が心配です。

子供たちに、これからの時代を生きる力を身に付けさせるためには、まずは先生方が心身ともに健康であること、そして、これからの時代に合った高い専門性や先進的な知識や技能、ものの見方や考え方を身に付けていく必要があります。また、教育の充実には先生方の豊かな人間性や社会性も大切です。

先生方の時間や心身のゆとりを生み出し、学校内外での様々な経験や学びを通して先生方自身が成長し、その姿で子供たちの前に立つことが、より良い教育、真の意味で「子供たちのため」につながっていくのではないのでしょうか。

県教育委員会、教育事務所、市町村教育委員会では、働き方改革アクション会議を開催するなど、長時間勤務改善に向けた対応策の検討を進めているところです。



「子供たちのための働き方改革」と考えて、取組を進めていきましょう。

<一人一人が取り組むこと>

- 「必要なもの」でも優先順位をつけましょう。
(本当に大切なことができますか？ 業務をやめる、置き換える、を進めましょう。)
- 時間をコントロールしましょう。(その時間、他に有効に使えますか?)
- 必要なスキルを身に付けましょう。(今は大変でもあとからとても楽になります。)
- 「お互いさま」を大切にしましょう。



<全体で取り組むこと>

- 「必要なもの」でも優先順位をつけましょう。(本当に大切なことができるよう、業務をやめる、置き換える、他に任せる、をリーダーを中心にどんどん進めましょう。)
- 業務内容と時間を見える化してコントロールしましょう。(特にリーダーは意識して)
- 業務の後追い、手戻りをなくしましょう。(見通しが大切です。)
- 「お互いさま」で仕事をし「お互いさま」で退勤する雰囲気をつくりましょう。

